



• Human Centered Design Organization

HCD-Net

2025年度事業計画

◆ HCD-Netのミッション

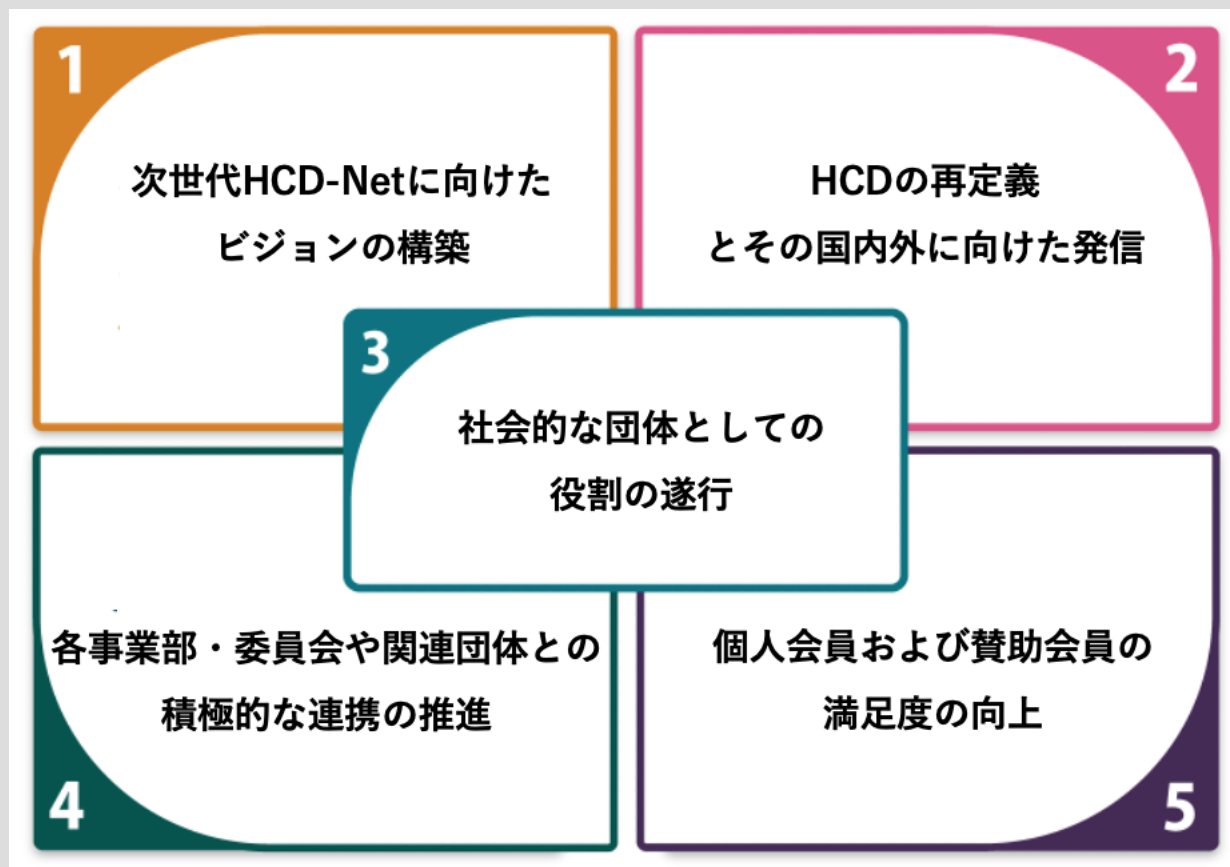
人間中心設計に関する学際的な知識や経験を集め、産学を超えた人間尊重の英知を束ね、人間中心設計導入に関する様々な知識や方法を適切に提供する。

- **多くの人々が便利に快適に暮らせる社会**作りへの貢献
- **経済の発展**への寄与
- **豊かでストレスのない実りある社会**の実現

◆ 中期目標（2023-2025）

- **1. 次世代HCD-Netに向けたビジョンの構築**
- **2. HCDの再定義とその国内外に向けた発信**
- **3. 社会的な団体としての役割の遂行**
- **4. 各事業部・委員会や関連団体との積極的な連携の推進**
- **5. 個人会員および賛助会員の満足度の向上**

中期目標 (2023-2025)



2024年度の重点目標（中期目標からの具体策）

●1. 次世代HCD-Netに向けたビジョンの構築

- ・ HCD-Netフォーラムの年次大会としての実施（研究発表会との併催）
- ・ 広報活動（イベント, Web, SNS）の基盤整備と研究活動（投稿・掲載論文, 発表論文, SIG活動）の活性化
- ・ 20周年（2025年度）に向けた次世代HCD-Netのビジョン構築と諸活動の計画



●2. HCDの再定義とその国内外に向けた発信

- ・ 非専門家のためのHCD基礎検定（旧HCD基礎知識体系）との積極的な連携と情報発信
- ・ HCD倫理綱領の確立と幅広い領域に向けた情報発信
- ・ 行政・自治体からの公的な認知と法的な保護の獲得（認定事業および倫理綱領の公的なオーソライズ等）



●3. 社会的な団体としての役割の遂行

- ・ 地方に向けた活動への注力（関西・東海の活性化とその他地域の開拓）
- ・ 学び合うしくみづくりなど教育機会の提供と各種業界を支えるエキスパートの交流促進
- ・ 従来からの事業活動の安定的な継続と発展的な活動・取組への注力



●4. 各事業部・委員会や関連団体との積極的な連携の推進

- ・ 事務局の補強・強化と各事業部への支援体制の確立
- ・ 各事業部の活動を担う主力メンバーの補強、評議委員の活動の明確化と活性化
- ・ 関連団体（ex. 組込みシステム技術協会(JASA), 各種学会）や行政・自治体との積極的な連携



●5. 個人会員および賛助会員の満足度の向上

- ・ HCD専門家認定者の受験者数の健全な拡充
- ・ HCD正会員のメリットの検討・実施、学生の参加に向けた検討
- ・ HCD賛助会員の現況把握と賛助会員メリットの検討・実施



2025年度の重点目標（中期目標からの具体策）

●1. 「次の20年」を射程とするHCD-Netのあり方の策定

- ・学術団体であり専門家認定団体としての機構の組織構造についての再定義
- ・広報活動（イベント, Web, SNS）の基盤整備と研究活動（投稿・掲載論文, 発表論文, SIG活動）の活性化
- ・大規模団体の円滑な運営を支える事務局の強化

●2. HCDの再定義とその国内外に向けた発信

- ・非専門家のためのHCD基礎検定および運営団体（HCS共創機構）との積極的な連携
- ・HCDコンピタンスの時流に適応した視点での見直しと再定義についての検討
- ・行政・自治体からの公的な認知と法的な保護の獲得（認定事業および倫理綱領の公的なオーソライズ等）

●3. 社会的な団体としての役割の遂行

- ・多様な地域への普及活動強化（既設支部地域以外のエリアへのHCD普及と支部設立に向けた活動の活性化）
- ・学び合うしくみづくりなど教育機会の提供と、HCD学習者が活躍できる機会拡大のための様々な業界に対する連携促進、コネクション拡大
- ・認定学術団体としての立場から公的機関との関わりを強化し社会発展に資する団体としての認識を拡大する

●4. 各事業部・委員会や関連団体との積極的な連携の推進

- ・事務体制の強化と各事業部への支援体制の確立
- ・各事業部の活動を担う主力メンバーの補強、評議委員の活動の明確化と活性化
- ・関連団体や行政・自治体との積極的な連携に加え、新たな関連団体（国際的な団体・機関との連携含む）コネクションを拡大する

●5. 個人会員および賛助会員の満足度の向上

- ・HCD専門家認定者の受験者数の健全な拡充
- ・HCD正会員のメリットの再検討・実施、学生の参加に向けた検討
- ・HCD賛助会員の現況把握と賛助会員メリットの再検討・実施

部門別の事業計画

2025年度の重点方針と重点実施項目

研究事業部

2025年度重点方針

- 機構誌への投稿論文数と掲載論文数の増加および掲載論文の質向上を図る
- 研究発表会における発表論文件数の増加と質の向上を図る
- SIG活動の活性化とSIG活動の成果の発信を図る
- 研究事業部の組織強化を図る

2025年度の重点実施項目と目標

- 2024年度は若手メンバーのリクルーティング以外の目標を全て達成した。2025年度は質の向上と査読システム導入等により現メンバーの負担軽減を目指す。
- メンター制度の定着（目標：とくに実践論文の執筆者を対象として、執筆力に欠けるために論文として掲載が適わない論文に対して執筆のサポートを行う制度を発足したので普及・定着を目指す）
- 前年度同様研究発表会を年2回開催する。2024年度は発表件数80件（目標50件）と大幅に目標を達成できたので、質の向上をはかるとともに、発表キャンセル等の防止策を検討する。
- 昨年度同様機構誌（通常号）を年2回発行。および、20周年記念号を発行する。2024年度は掲載論文数17編（目標10編）と目標を大幅に達成できた。メンタリング制度も発足させたので、質の向上をはかるとともに、HCD-Net 内の活動（他の事業部など）の成果の投稿も促す。
- 2024年度は新規SIGを1件立ち上げて目標を達成した。今年度は、SIG活動の支援方策を立案する。
- 研究事業部の活動の中心となるべく新たなメンバーをリクルートする。

2025年度の重点方針と重点実施項目

教育事業部

2025年度重点方針

- ◆ HCDに関する知識・学習体験の継続的提供と学習領域の拡張
- ◆ 初学者およびHCDに興味を持つ潜在学習層が参画しやすい講座・イベントの拡大
- ◆ HCD熟達者が保有するナレッジの、ビギナー・インターミディエイトへの共有機会づくり

2025年度の重点実施項目と目標

- ◆ 学び合うしくみづくり
 - 受講者がお互いから学べるしくみを検討（熟達者に学ぶ機会や、対話型イベントの開催など）
- ◆ HCDに関する知識・学習体験の継続的提供と学習領域の拡張
 - HCD学習の基盤となるような定番講座の継続開講（骨太な学習コンテンツ）
 - 新しい領域・切り口の学習コンテンツを増やす
 - 初学者向け「はじめてのHCD」シリーズ
 - 領域横断（エンジニアとデザイナーなど）のHCD講座

中期計画（2023～2025年度）

教育事業部

重点方針

- ◆ HCDに関する知識の継続的提供
- ◆ オンラインセミナーの活用で学習機会の拡大
- ◆ 地域の状況に応じたセミナー、イベントの企画・運営・サポート



重点実施項目と目標

1. HCD入門セミナーの定期開催のために、実施方法を手順化する
2. UXデザイン連続セミナーをいろいろな講師が実施できるようにするために、
講座の「エッセンス」を明確にする（教材＆手引書のようなもの？）
1. オンラインセミナー継続実施のために、提供プラットフォームなどを含めて
実施方法を手順化する
1. 東海支部独立運営（2021年度）のためのサポート
2. 関西・東海以外の地域拠点でのHCD普及活動の定常化→水本副理事長の地域活動を支援



2025年度の重点方針と重点実施項目

広報社会化事業部

2025年度の重点方針

- ◆ HCD-Net20周年；20周年としてのHCD-Netフォーラムを成功させる。
- ◆ 会員の活動活性化；フォーラムなどのイベントへの動員増
- ◆ HCD-Netの広報機能としての広報社会化事業部の確立；24年度からの継続

2025年度の重点実施項目と目標

- ◆ フォーラム：20周年フォーラムを成功裏に実施する
- ◆ AWARD：新しいAWARDの仕組みを確立し、始動させる
- ◆ 基盤整理：事業部の役割、体制整理；24年度からの継続
- ◆ サロン：継続的に実施できるスキームの確立

2025年度の重点方針と重点実施項目

広報社会化事業部

中期計画

- ◆ HCD-Net会員の交流活性化の活動：フォーラム、サロン
- ◆ イベントに参加する会員を増やす
- ◆ 横串的な活動の強化；各事業部の活動の広報強化

2025年度の重点方針と重点実施項目

ビジネス支援事業部

重点方針

HCDマネージメント社会実装、専門家のスキルを発揮できる環境作り、HCDツールの提供

重点実施項目と目標

◆ 運営委員会

- ・ HCDビジネスシンポジウムの開催1回、EdgeTech+2025（仮説検証ブートキャンプ開催）
- ・ 各委員会間の連携強化

◆ HCDマインドセット醸成委員会

- ・ HCDの啓発、導入、推進
- ・ スキルセットとマインドセットのワークショップ開催1回

◆ HCD導入パターン委員会

- ・ 「HCD導入パターン初版」のコンテンツ改善、HCD導入パターン普及イベントを1回開催

◆ 自動運転社会におけるHAII検討委員会

- ・ 人とAIを共通のモデルで捉え、人の運転する車両と自動運転車両の混在する安全な交通の検討を進める
- ・ 2025年度成果報告イベント開催1回

◆ 「利用時品質」普及委員会

- ・ 利用時品質ワークショップの開催1回
- ・ 利用時品質談話会の開催2回
- ・ 東海大辛島研究室での利用時品質計測の実施12回
- ・ ISO/JIS規格関連セミナーの開催3回

◆ HCSA委員会

- ・ 各国で提供されているツールキット等も参照しながら、ワークショップの開催1回
- ・ 標準ガイドライン勉強会（サービスデザイン）

2025年度の重点方針と重点実施項目

専門資格認定センター

重点方針

- 認定試験の拡大と安定運用
- 更新審査の安定運用
- HCD基礎検定との協力体制の確立

重点実施項目と目標

- 運営業務のシステム稼働をスタートし、効率化する
- 新メンバーを募って活動の安定化、負荷の分散をする
- 受験者増加にともなう審査員確保の解決方針を立てる
- コンピタンスマップへHCD基礎検定で得た知見をフィードバックする
- 料金体系が複雑になっているため、シンプル化し、運営業務を効率化する

重点方針と重点実施項目

関西支部

2025年度重点方針

◆実践に役立つイベントを開催する

- ・ 参加比率の高いメーカーエンジニアをメインターゲットとする
- ・ 実践事例を共有することにより、さらなる実践数の増加を図る
- ・ 関西でのリアルイベントは「体験したからこそわかる貴重な機会」にする

◆実践数を増加させる土台として参加者の裾野を広げる

- ・ 幅の広いテーマによる関西フォーラムの開催
- ・ 参加しやすい無料イベントの開催

◆未来を見据えコミュニティを広げる

- ・ イベントに、もっと若い人が参加できるように工夫する
- ・ 支部メンバーにも若い人をいれる
- ・ 子供向けイベントの開催

2023～2025年度中期方針

- ◆外国人観光客、移住者、留学生が多い関西でこそ
「多様性、多文化共生のためのHCD」を考える

2025年度の重点方針と重点実施項目

東海支部

2025年度重点方針

- ◆ 東海地区にニーズにあったセミナー・イベントの実施
- ◆ 運営メンバー、参加者とのHCD実践情報共有の活性化

2025年度の重点実施項目と目標

- ◆ 東海地区のニーズにあったセミナー・イベントを3回開催
- ◆ HCD実践情報を共有できる活動の検討

2025年度の重点方針と重点実施項目

ウェブワーキンググループ

重点方針

- ウェブサイトの運用の安定化をする
- 時代にあったソーシャルメディア運用をする

重点実施項目と目標

- 広報社会化事業部への再合流し、一体として運営を進める
- 技術がわかる人材の安定的な確保が難しいため、HCD-Netのウェブサイトを「事務局のみ」で運用できる基盤システムへ移行する
- 新メンバーを加えて活動の安定化、負荷の分散をする

2025年度の重点方針と重点実施項目

HCD倫理規定検討ワーキンググループ

重点方針

- HCD倫理規定の展開
- HCD-Netとしての倫理活動方針の策定と実施

重点実施項目と目標

- FY20-21にて策定した倫理規定を業界及び一般に広報・展開
- SIG活動と連携し、事業者・エージェンシーによる実践へ向けての議論
- メディアを通じた社会への発信、広報
- 国際的な展開
- 上記に関するイベントの開催
- 「HCD倫理検討委員会」への名称変更、ミッション再定義

重点方針と重点実施項目

地方および他分野への普及拡大、賛助会員向けサービスの向上

2025年度重点方針

1. 地方および他分野への普及拡大

目標: 人間中心設計の理念と手法を、未開拓地域および他分野へ展開し、地域間の格差是正と多様な産業への浸透を図る。

重点施策:

- ・九州支部および北海道支部の立ち上げ準備。
- ・各地域でのセミナーやワークショップの開催頻度を拡大。
- ・地域コミュニティとの協力体制構築を通じた持続可能な普及活動。
- ・新規業界や学会、コミュニティとの連携の検討。

2. 賛助会員向けサービスの向上

目標: 賛助会員に対する付加価値を向上させ、満足度を最大化するとともに、会員基盤の拡大を実現。

重点施策:

- ・ 2024年に実施したヒアリングにより得られたニーズへの対応。
 - 賛助会員専用コンテンツ（セミナー、サロン等）の拡充。
 - 意見交換会や共同研究プロジェクトの立ち上げを通じた会員間交流の促進。

2025年度の重点方針と重点実施項目

事務局

2025年度重点方針

- ・各部門の諸活動を支え、安定的な支援を実施するとともに、会員の皆さまの満足度向上に繋がる対策や体制を構築する。

2025年度の重点実施項目と目標

- ①個人情報保護法に沿った運営体制の明示と遂行を継続して実施する。
- ②管理業務および諸活動サポート業務のマニュアル化促進を継続する。
- ③各部門の課題・要望を把握、共有し、円滑な運営に繋げる。
- ④会員満足度調査及び満足度向上に伴う具体策を検討する。
- ⑤中期計画3年目、20周年プロジェクトに向けて支援する。